

# MISSION DAY NEWS

Volume.5 2014年 10月

## 日本 函館三育保育園

6月3、4日の2日間、函館三育保育園では、25名の全職員が集まって、ミッションデーを行った。隅田トシ園長から、ヨハネによる福音書15章16、17節のみ言葉を中心とした説教があり、函館保育園の歴史を思い返しながら、宣教使命を再確認した。

隅田園長は、「自分がどこから来て、どこへ帰るのか。そんな事を考えることすらなく過ぎてきた若い職員にとって、三育保育園で働くということが、園児の成長のみならず、自分の生き方にも大いにかかわってくるものだと感じ取ってほしい」と強調した。

また、先駆者が、苦労の中でつくりあげてきた保育園の47年間の歴史に思いを馳せた。多くの祈りがささげられ、一つひとつの困難を乗り越えて始まった保育園。教会員は、この保育園が軌道にのるように、熱い祈りと献金によって支援した。また、障がい児保育、一時保育、延長保育を行ってきた歴史には、すべて神がおつくりになった人々、そして家庭への愛から始まった。決して軽い気持ちから始めたわけでも、すべてが順調だったわけでもない。ただ、子どもたちや保護者を大切に思う気持ちから始めた働きだった。

そんな保育園を、これからも愛し、支えていく一人ひとりに、天からの力を求めた。わたしたちは継承者だ。わたしたちは、神によってここに集められた者であり、その働きを祝福してくださる方がおられる。出席者一人ひとりから証しがあり、保育園の持つ使命と目的を再確認した。聖書研究中の職員には、神様からの召しを考えるとこととなったことだろう。



ADVENTIST  
MISSION

発行人\_李在龍(イ ジェリョン) 編集人\_権政行(コン ジョンヘン)  
翻訳\_李在鎭(イ ジェジン) 電話\_82 (31) 910-1526 Eメール\_ mission@nsdadventist.org  
住所\_ P.O. Box 43 Goyang Ilsan 410-600, Republic of Korea  
ニュースレターは日本語、韓国語、中国語で発行されます。

## 台湾教団

台湾教団は、8月31日と9月2日の2日間、ミッションデーを行った。地域住民を対象に、賛美の時間、健康セミナー、エアロビクス、無料の理美容奉仕、冊子配布、町の掃除など多様なプログラムを提供したのだ。

教区は、事前に地域社会機関と連携して、機関長たちにミッションデーのプログラムを紹介し、近隣の住民たちがプログラムに参加するよう招待し、広報するようお願いした。

初日には、台湾教団安息日学校部長のジム・シー牧師が、参加者にいろいろな賛美歌を紹介しながら、恵み深い時間を過ごした。住民たちは初めて賛美に触れたにも関わらず、皆が積極的に大きな声で歌った。ジム・シー牧師が祈るときには、皆が大声で「アーメン」と答えた。

ジム・シー牧師の夫人は、エアロビクスを披露したが、地域の機関長たちが高い関心を注ぎ、講師としてもう一度招待したいとの意向を示した。総務部長のシム・キンイ牧師は、光化学反応に関する健康メッセージを伝えたが、毎日別の色の多様な食べ物を摂取するように勧めた。その他二人の美容師が、ボランティアで無料の美容サービスを提供した。最後には、ミッションデーに参加したすべての住民に『アメイジング ラブ』という冊子をプレゼントした。

今回、総勢25名の求道者を送ってくださった神に感謝をささげたい。台湾教団は、ミッションデーを通して、地域と教会を繋げる機会ができた。求道者たちの連絡先を把握し、まもなくフォローアッププログラムに招待する計画がもたれている。





## 韓国 エデン療養病院

エデン療養病院は、2014年7月3日にミッションデーを行った。ミッションデーは、2010年から毎年、開院記念日にあわせて企画されている。今年、病院では、1,000冊の伝道冊子の配布を計画した。

そのために、キムジョンホ牧師に執筆を依頼し、『キリスト教の変質』という本を制作した。この本は、安息日の真理と靈魂不滅説の誤謬を歴史的に説明し、聖書の正しい真理を紹介し、聖書に基づいた宗教に戻ってくるよう訴えている。

この日、病院の全職員と病院教会の信徒たちは、3階の講堂に集い、開院記念およびミッションデーの礼拝をささげた。パクジョンギ院長は、記念式辞で、イザヤ54章2節の「あなたの天幕に場所を広く取り／あなたの住まいの幕を広げ／惜しまず綱を伸ばし、杭を堅く打て」のみ言葉を通して、現状に満足せず、新しい挑戦をするよう勧めた。

礼拝後、冊子を封筒に入れ、住所ラベルを貼り、1,000冊の伝道冊子を発送した。全職員が、福音を伝えたい家族、親せき、親友、隣人の住所を1,000人分持ち寄ったのだ。最後に、登壇者たちは、1,000冊の本に手を置き、この本が届く場所に聖霊の臨在がくだり、受け取った人々に神のみ声が聞こえるよう祈った。

また、病院はミッションデーの連続行事として、10月1日にトラクト配布活動を行った。この日は、病院の業務に最低限必要な職員を除いて、すべての職員が参加した。病院のある地域を九つの区域に分け、6,000枚のトラクトを配布し、神の福音を伝えた。



## 韓国 仁川アジア大会を宣教の機会に

仁川学院教会は、9月19～27日まで仁川アジア競技大会が開かれる競技場を回りながら、世界45か国から来た選手やスタッフ、外国人観光客に、再臨のメッセージが書かれたトラクトと小冊子を配った。

昨年8月、教会を訪問したNSD世界宣教部長の権政行牧師は、1988年のソウル五輪大会のときに、どのように宣教活動を行ったかを証した。それを聞いたシムギョンソプ牧師は、信徒たちと相談してトラクトを用意した。

外国に行かずに世界宣教に参加できる絶好の機会だった。韓国教団のホームページで知らせると、全国の信者から励ましの電話と献金が寄せられた。ある人は直接、配布活動に参加した。

韓国福音社は、12,000冊の健康雑誌を支援した。信徒たちは毎日集まり、雑誌に教会のスタンプをおした。いよいよ9月20日の午後1時、全信徒は教会で組になって切なる祈りをささげた後、4つの地域に向かって出かけた。

競技場と人が多い電車でトラクトを配ると、反応が良かった。トラクトを捨てる人が、一人もいなかったのだ。信徒たちも久しぶりのトラクト配りに感動をおぼえた。青年、高齢者の信徒だけでなく、教会に加わったばかりの新教会員や外国人宣教師たちも、皆熱心にトラクトを配った。

その後、二人の青年が教会を訪ね、一緒に礼拝に参加した。また、二人の女性から英語教会に問い合わせがあり、観光客も教会を訪問した。

ウェットティッシュを付けたトラクト、韓国語と中国語のトラクト、健康雑誌、英語のトラクトなど計60,000枚の福音文書を配布した。



## 2014年宣教日行程

- 10月18日 韓国 釜山アドベンチスト病院
- 10月26日 選ばれし器（在韓 千人宣教師）
- 10月27日 セブンスデー・アドベンチスト韓国教団西中央教区
- 10月27日 韓国 三育健康大学
- 11月12日 韓国 SDA 語学院
- 11月30日 選ばれし器（在韓 千人宣教師）
- 12月5日 韓国 三育歯科医院
- 12月24日 台湾 アドベンチスト大学
- 12月28日 選ばれし器（在韓 千人宣教師）

この日程は、現在、すでに報告された機関に限られています。まだ日程を決めておられない機関は日程を早めに決め、計画を立てていただき、[mission@nsdadventist.org](mailto:mission@nsdadventist.org)に情報を送っていただくようお願いいたします。日程が変更した場合にも、同じく上記のメールアドレスに通知していただければこの日程表に掲載させていただきます。